

令和 5 年 6 月 21 日現在

機関番号：32642

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2018～2022

課題番号：18K01622

研究課題名(和文)病床機能再編政策による財政健全化・ヘルスサービス機能の集積の効果

研究課題名(英文)Fiscal consolidation and regional management through quantitative restriction of hospital beds

研究代表者

伊藤 由希子(Ito, Yukiko)

津田塾大学・総合政策学部・教授

研究者番号：30439757

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,500,000円

研究成果の概要(和文)：病床機能再編政策は、既存の各地域の病院・病床の機能を、少子高齢化に伴う病床の量的な必要量の変化と、疾病の変化に伴う質的な必要量の変化に対応することを目指した政策であった。期待される主な効果は病床の節減による財政健全化と医療人材の有効活用に必要なヘルスサービスの集積、そして医療の質の向上である。しかしながら、これらの目標はCOVID-19に伴い大きく後退したと言える。本研究では、今後の地域の病床機能再編に必要な観点として、ケアパスウェイ(患者の受ける医療サービス等の流れ)を可視化することを通じた効率化ツールを検討し、改めて、財政健全化や医療サービスの集積を目指すうえでの合理的な方策を検証した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

COVID-19の感染拡大に伴い、日本の医療提供体制の脆弱性が明らかになった。本研究では、なぜ脆弱であったか、どのような点で政府の病床確保政策が誤っていたかという、社会的関心が極めて高い問題を扱うことができた。また、今後の地域の病床機能再編に必要な観点として、ケアパスウェイ(患者の受ける医療サービス等の流れ)を可視化することを通じた効率化ツールを検討し、改めて、財政健全化や医療サービスの集積を目指すうえでの合理的な方策を検証した。

研究成果の概要(英文)：The policy of restructuring hospital beds was aimed to meet the changing quantitative and qualitative needs for hospital beds. The policy was planned to adjust to the aging society and decreasing population in Japan, as well as to the chronic diseases of aged patients. The main expected effects of the policy were the improvement of fiscal balance through reduction of excessive hospital beds and the agglomeration of health service functions, which are necessary for the effective use of medical human resources. However, these goals were largely undermined by the spread of COVID-19 infections and related policy measures. The study examined the visualization of care pathways (flow of medical services and other services received by patients) as a necessary perspective for the re-functioning of regional hospital beds, and revisited some rational measures for fiscal stability and the integration of medical services.

研究分野：医療経済学

キーワード：COVID-19 地域医療構想 財政健全化 集積 病床確保 少子高齢化 人口減少 ケアパスウェイ

## 1. 研究開始当初の背景

### (1) 少子高齢化を背景とした医療提供体制の効率化の必要性

近年、日本では高齢化率(65歳以上人口の割合)が29.1%(出典:2022年総務省「人口推計」)と過去最高の水準に達している。世界の多くの国々でも高齢化が進み、医療サービスの需要に対して、供給の主体となる生産年齢人口(15~64歳)は相対的に減少している。そのため、限られた社会資源を効率的に用いて、医療や介護の質を維持できる持続的なサービス提供体制の構築が、グローバルな社会課題となっている。

しかし、特に日本においては、疾病予防や治療、予後などの医療・健康サービスが、内容面でも地域的な範囲においても個別に提供されている。また、サービスの提供者も民間、公立、国立と様々であり、その協力体制は十分ではない。加えて、行政機関も、現場の課題を解決するための情報の収集や情報の活用が不十分であるという課題がある。

これらは公費(租税や公債)や社会保険料を原資とする社会保障の財政基盤の健全性を揺るがすものとなっている。また、患者の視点からは、各サービスが患者中心の視点で必要十分に連携できている状況ではありません。例えば、患者が転院時・入院時などに医療・健康サービスの全体の流れが見通せず、安心感がなく、必要な時に必要なサービスが適切な機関で受けられないことが課題となっている。特に、COVID-19感染症の拡大下では、このような医療提供体制の課題が露呈している。

これらの背景には、医療・健康サービスの提供機関単位の個別の効率化の課題(地域の中での担うサービスの選択)と、提供機関同士のサービスの連携の効率化の課題があり、両者は不可分でもある。全体最適を考える上では、住民や患者が受けられるケアの流れ(ケアパスウェイ)を俯瞰し、その中のサービスの過剰や過少、またそれらが混在・偏在している状況を可視化することが必要と考えている。

また、全体最適を考える上で欠かせないのが、少子高齢化の中で供給が限られてくる医療人材の効率的な確保と、それを実現する医療・健康・介護等のサービスの適切な集積や分散である。具体的には、高度な医療資源の集中的な投入が必要な救命救急機能は地域の中核拠点に集約し、それを支える後方支援となる医療・介護機能が、つながりながらもある程度分散して配置する形と言える。

### (2) 医療提供体制における病床機能再編政策とその重要性

病床機能再編は、社会保障政策における医療・介護提供体制の適正化において、最も重要な改革項目として、経済・財政再生計画の筆頭に挙げられている。その理由は主に2点ある。

まず第一に、国内の人口や疾病構造の変化を踏まえると、現在の全国の病床数(156万床)は2025年の必要病床数(推計120万床)に比べて過剰であるためである。また、病床機能は急性期向けの人員配置に偏り高コストの状態である。もし、空床を埋めるためだけに、入院の必要性の薄い患者を長期に入院させれば、社会保障(医療)費の高騰を招き、人口減少社会における公的医療保険の持続可能性が危ぶまれる。

第二に、都道府県別にみても、人口あたりの病床数に3倍以上の開きがあるためである。性・年齢階級を標準化して計測しても大きな格差が残り、地理的条件や疾病特性の差では説明できないほど、医療資源の供給体制に(徴収保険料の差を上回る)地域差がある。従って病床の多い地域ほど、国から多くの財政支出がなされていることになり、所得再分配上の公平性が損なわれている。

これを受けて、各地域で病床機能再編を行う指針として、厚生労働省により「地域医療構想」の策定が都道府県に義務付けられ、地域(二次医療圏)単位で病床機能分化を調整するよう量的規制が求められている。また、総務省からは、国・地方自治体から事業経費の繰入を受けている公立病院を対象とする「新公立病院改革プラン」において、再編・ネットワーク化の取り組みに対し、補助金(インセンティブ)が設けられている。このような政策が、直接的・間接的にどのような効果を持ち、また、ケアパスウェイの高度化という点において、どのような成果と課題を示しているのか、検証が必要である。

## 2. 研究の目的

住民や患者の視点から、ケアパスウェイの高度化(効率化・柔軟化)により、質が高く、かつ持続可能な地域医療体制を構築するという課題解決が目標となる。また、このような体制の構築を支える機能が、病床機能再編による財政の健全化と、地域における医療サービスの集積という変化を示すことにもなる。本研究では、「病床減と都市空間の再編による健康イノベーション」<sup>1</sup>などの実証経済学の観点での研究を活かし、高齢化社会に対応した持続的で柔軟な地域医療提

<sup>1</sup> JST/RISTEX「科学技術イノベーション政策のための科学」病床減と都市空間の再編による健康イノベーション：病床を減らすことで人材を厚くし、より密度の高いサービスを患者一人ひとりに提供すると

供の実現に向けたソーシャルデザインを指向した。

下図にあるように、個別の提供機関ごとに情報や判断が閉ざされているために、結果的に起こっているいくつかの問題に着目する。具体的には、個人の入院の長期化や、医療提供機能の重複や地域内の偏りのため、個人にとって必要な水準のケアと供給されるケアの水準がミスマッチとなる問題を現在の主な課題と捉える。

そこで、住民や患者が実際に利用している医療や介護のサービスの履歴を活用し、将来の人口推計も加味しながら、医療機関ごとの治療の選択と集中や人員配置の見直し、さらに、医療機関同士など、他機関との連携のデザインを検討する。これらを国・自治体・医療機関等に提案することを通じて、医療機能再編のための合理的な意思決定に貢献することを重視する。そして、これらの意思決定支援を通じて、患者一人ひとりが、財源の有効活用という点でも、現場のサービスの安定という点でも、安心感をもって、地域の医療・介護サービスを持続可能な形で利用できることを目指す。

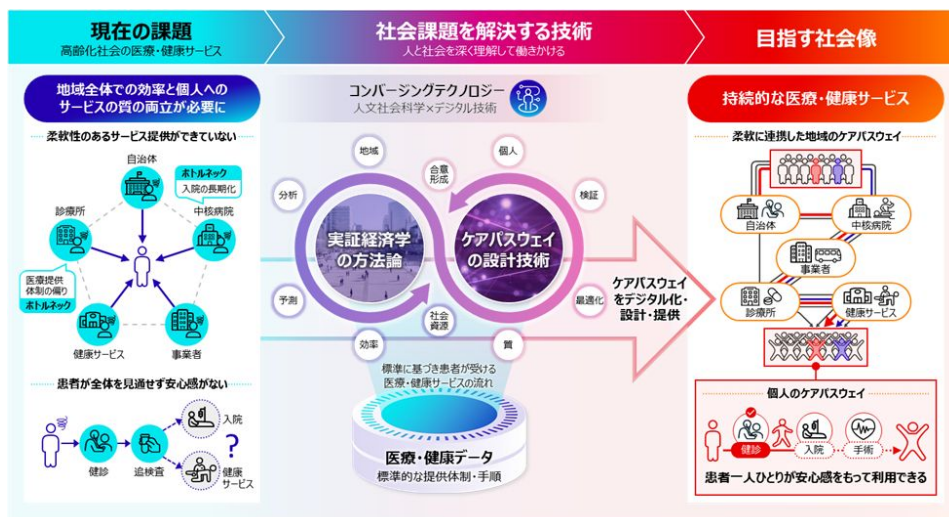


図. ソーシャルデザインの医療・健康サービスへの適用イメージ

(出典： 高齢化社会に対応した持続的で柔軟な地域医療提供の実現に向けて、富士通と津田塾大学がソーシャルデザインの共同研究を開始： <https://pr.fujitsu.com/jp/news/2022/08/25.html>)

### 3. 研究の方法

#### (1) 研究方法の検討

まず、患者一人ひとりのケアパスウェイ（健診受診履歴や治療履歴、介護・福祉等のサービスの利用）を地域全体で一元的に可視化・分析しうる前提で、何がケアにおける「ムダ」「ムリ」「ムラ」<sup>2</sup>に相当するのか、ボトルネックを抽出した。

「ムダ」の例としては、病床数が必要量に比べて多すぎ、入院治療の必要性が乏しい患者が入院する状況、入院治療の必要度が低下した患者が長期に入院する状況、同じ検査を医療機関が変わるごとに実施する状況等が挙げられる。「ムリ」の例としては、必要性の乏しい検査や治療に人員や時間が割かれ、全体的に医療の提供人材不足が生じること等があり、ムダとも密接に関連する。医療機関同士の役割分担が不十分で、患者が過度に集中することや分散することも「ムリ」の例であり、これらは、医療提供の「ムラ」ともいえる。

次に、医療・健康データに基づきケアパスウェイの改善案を設計する技術の開発に着手した。具体的には、まず、医療機関内での特定の治療行為の多さ・少なさ、対応する人員の多さ・少なさを、パスウェイの設計における分岐点と捉える。そして、その医療密度（治療行為/治療体制）の大小に応じて、個々の医療機関の現在担う機能を可視化する。さらに将来的な治療行為ごとの需要を踏まえて、地域における治療の持続性を推計する。持続性が早期に危ぶまれる場合は特に、医療機関同士や関連サービスを比較し、地域の中での集約ないし分散の在り方を複数のシミュレーションをもとに検討している。これらの成果の一部は猪又他（2023）<sup>3</sup>において発表・論文文化している。

もに、院内の余剰空間に患者に必要なサービスを集めることで、健康改善につなげる取り組み（研究代表者：伊藤 由希子） <https://www.jst.go.jp/ristex/stipolicy/project/project30.html>

<sup>2</sup> (株)OJT ソリューションズ 『トヨタ 仕事の基本大全』(中経出版、2015年)を参考に、医療における需要と供給のバランスやそのタイミングのずれに着目した。需要に対して供給が過剰である状況・時期を「ムダ」、需要に対して供給が過少である状況・時期を「ムリ」、ムダとムリが地域的にも時期的にも混在・偏在化している状況を「ムラ」と定義している。

<sup>3</sup> 猪又明大, 大谷猛, 雨宮智, 香村紗友梨, 伊藤由希子 (2023)「持続的で柔軟な地域医療提供の実現に向けた社会デザインの研究」第2回計算社会科学大会 (2023年2月)

さらに、医療・健康データに基づく身体機能や費用対効果などの疾患や医療に関する指標の可視化を探索している。例えば、入院時のADL（日常生活動作）と退院時のADLを比較し、一定の改善ができる限り短期の入院数で達成できることや、出来る限り医療資源が効率的に投入されることはケアパスウェイの改善と考えられる。また、出来高払い相当で計算される日次単位の医療費の水準が、急性期・回復期・慢性期等の届け出（報告）の水準に適合しているかどうかムダやムラの指標の一つとなりうる。また、救急搬送の件数や内容が、医療施設の体制（人員・ICU/HCU病床数）に対して必要十分かどうかなどは、ムリの指標にもなる。特に医療資源の投入費用に対する治療アウトカムについては、医療全体の財政健全化の観点からも非常に重要である。

加えて、研究において重要であるのが、地域の医療提供体制に関わる政策の提示と合意形成に向けた議論の場の設定である。研究者は、過去に、石川県内の病院統合の事例（2016年）や長野県内の病院の移転（2017年）に関わった経験と研究成果<sup>4</sup>がある。ただし、病院の統合や移転を伴う大規模な施設や体制の転換の場合は、予算・地理条件・人員配置など、検討から着工に至るまで5～10年近い調整期間を要するため、その長い調整期間自体が医療提供体制の非効率性をはらむ。ケアパスウェイの設計も、首長の意欲や住民団体の意向などにより情報の活用が限られ、定量的・合理的には議論されない現実がある。

その点で、地域の主要な病院や行政機関、医師会などに汎用性の高い合理的な検討ツールを提示することで、医療のムダ・ムリ・ムラを削減し、治療効果の変化などの予測を提示することが、全国の地域医療再編に不可欠であるとの考えを持っている。具体的な地域事例を一つ一つ開拓してゆくことを通して、現場（医療機関や行政機関）が納得し、住民に対して説得力のある議論を早期に構築することを検討してきた。

## （2） 具体的な事例

具体的な検討事例として、津田塾大学（伊藤由希子）が山形大学（村上正泰・池田登顕）と従前の研究課題（「科学技術イノベーション政策のための科学」病床減と都市空間の再編による健康イノベーション）において検討した、山形県米沢市内の医療機関再編を好例として、検証を進めた。山形県米沢市は、2017年、米沢市地域医療連携あり方委員会を設立し、地域内の二次救急指定病院である、米沢市立病院と三友堂病院の再編統合による機能分化案を策定した。

2023年11月には、2病院が地域医療連携推進法人設立および新病院を開院予定であるため、再編前の医療と、再編後の医療の比較を行うことで、具体的に供給体制がどのように変化し、治療アウトカムやケアパスウェイがどのように変化するかを実証することが可能となる。伊藤他（2023）<sup>5</sup>やIto et al. (2023)<sup>6</sup>は2014年度～2020年度までの地域（置賜二次保健医療圏）の入院履歴を用いて、患者の重症度の違いを考慮した上でもなお残る、病院ごとのケアの内容や成果の差を可視化した。これらの成果について、米沢市立病院と三友堂病院に対して報告を行った。また今後の変化についても報告を継続して行ってゆく。

## 4. 研究成果

本研究の成果として、講演・新聞・映像メディア等を通じた本研究課題の周知や研究内容の報告については十分に達成したと考えている。また、山形大学医学部倫理審査承認を経て、DPCデータの研究利用の環境が整ったことや、米沢市の2病院から研究内容への理解が得られたことから、一定の研究成果の発表にも至っている。

また、山形での研究内容の成果を通じて、研究者は北海道内の医療機関からの分析依頼を新たに頂いた。また、同様に、新潟県内において検討してきた、救急搬送体制の可視化による地域医療機関再編について、文部科学省科学研究費基盤研究(B)「救急搬送の可視化による病院機能再編政策の提案-ドクターヘリ運航記録を踏まえて」に2023年度採択された。これらの事例により、地域のケアパスウェイの設計ツールの利用可能性はさらに拡大すると考えられる。

<sup>4</sup> 日本学術振興会「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」における「実社会対応プログラム：課題（研究領域）D：共生社会実現をめざす地域社会及び専門家の内発的活動を強化するための学術的实践（2013年度～2015年度）「病院を中心とする街づくり まちなか集積医療の提言」（研究代表者：伊藤由希子）の成果による。

<sup>5</sup> 伊藤由希子，池田登顕，村上正泰，猪又明大，大谷猛，雨宮智，溝内剛，多田厚子（2023）「米沢市民の急性期医療のニーズからみる医療提供体制の課題の考察」第2回計算社会科学大会（2023年2月）

<sup>6</sup> Yukiko Ito, Takaaki Ikeda, Satoshi Kanke, Ryuki Kassai, Masayasu Murakami (2023) “ Comparison of Treatment Outcomes of Acute Care Hospitals in Okitama Secondary Medical Care Zone of Yamagata Prefecture ” *Public Policy Review* VI.19-1, p.1-40 2023, DOI : <https://doi.org/10.57520/pripr.19.1-4>

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計25件（うち査読付論文 3件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 9件）

|   |                    |
|---|--------------------|
| 1. 著者名<br>Yukiko Ito, Ryuki Kassai,   | 4. 巻<br>19-1       |
| 2. 論文標題<br>Quality Indicators for Treatment Outcomes of Regional Medical Institutions | 5. 発行年<br>2023年    |
| 3. 雑誌名<br>Public Policy Review VI. 19-1, p. 1-25 2023,                                | 6. 最初と最後の頁<br>1-25 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>10.57520/pripr.19.1-3                                      | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）   | 国際共著<br>-          |

|   |                    |
|---|--------------------|
| 1. 著者名<br>Yukiko Ito, Takaaki Ikeda, Satoshi Kanke, Ryuki Kassai, Masayasu MURAKAMI (2023)  | 4. 巻<br>19-1       |
| 2. 論文標題<br>Comparison of Treatment Outcomes of Acute Care Hospitals in Okitama Secondary Medical Care Zone of Yamagata Prefecture | 5. 発行年<br>2023年    |
| 3. 雑誌名<br>Public Policy Review  | 6. 最初と最後の頁<br>1-40 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>10.57520/pripr.19.1-4  | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-          |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>伊藤由希子, 小谷和彦                       | 4. 巻<br>45-3          |
| 2. 論文標題<br>「地域医療構想：今後の行方を含めて」               | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>『医療と検査機器・試薬』 Vol.45 No.3 177-183. | 6. 最初と最後の頁<br>177-183 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし               | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難      | 国際共著<br>-             |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>伊藤由希子                        | 4. 巻<br>3217        |
| 2. 論文標題<br>地域医療構想を論じる根拠                | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>週刊社会保障                       | 6. 最初と最後の頁<br>34-35 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>伊藤由希子                        | 4. 巻<br>3208        |
| 2. 論文標題<br>金融緩和頼みの社会保障の10年             | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>週刊社会保障                       | 6. 最初と最後の頁<br>26-27 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>伊藤由希子                        | 4. 巻<br>3200        |
| 2. 論文標題<br>改革工程表の7年間                   | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>週刊社会保障                       | 6. 最初と最後の頁<br>30-31 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>伊藤由希子                        | 4. 巻<br>2873        |
| 2. 論文標題<br>医薬分業の課題                     | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>社会保険旬報                       | 6. 最初と最後の頁<br>11-14 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>伊藤由希子                        | 4. 巻<br>3191        |
| 2. 論文標題<br>「病床確保」政策の検証                 | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>週刊社会保障                       | 6. 最初と最後の頁<br>28-29 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>伊藤由希子                        | 4. 巻<br>3181        |
| 2. 論文標題<br>働き方改革と地域医療の両立               | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>週刊社会保障                       | 6. 最初と最後の頁<br>28-29 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>伊藤由希子                        | 4. 巻<br>3172        |
| 2. 論文標題<br>雇用調整助成金の出口戦略                | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>週刊社会保障                       | 6. 最初と最後の頁<br>28-29 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>伊藤由希子                        | 4. 巻<br>76-6        |
| 2. 論文標題<br>働き方の多様化を支える社会保険へ            | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>健康保険                         | 6. 最初と最後の頁<br>16-21 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>伊藤由希子・小谷和彦                   | 4. 巻<br>45-3          |
| 2. 論文標題<br>地域医療構想；今後の行方を含めて            | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>医療と検査機器・試薬                   | 6. 最初と最後の頁<br>177-183 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|   |                      |
|---|----------------------|
| 1. 著者名<br>伊藤由希子・池田登頭・菅家智史・葛西龍樹・村上正泰         | 4. 巻<br>148          |
| 2. 論文標題<br>山形県置賜二次保健医療圏における急性期病院の治療アウトカムの比較 | 5. 発行年<br>2022年      |
| 3. 雑誌名<br>フィナンシャル・レビュー                      | 6. 最初と最後の頁<br>94 128 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし              | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)      | 国際共著<br>-            |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>伊藤由希子・葛西龍樹                   | 4. 巻<br>148         |
| 2. 論文標題<br>地域の医療機関の治療アウトカム評価の指標        | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>フィナンシャル・レビュー                 | 6. 最初と最後の頁<br>67 87 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>伊藤由希子                        | 4. 巻<br>722号        |
| 2. 論文標題<br>サービス貿易の重要性                  | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>経済セミナー                       | 6. 最初と最後の頁<br>40-45 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>河野敏鑑・大森正博・伊藤由希子              | 4. 巻<br>723号        |
| 2. 論文標題<br>学際系学部における経済学教育・研究           | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>経済セミナー                       | 6. 最初と最後の頁<br>54 61 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |



|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>伊藤由希子                        | 4. 巻<br>76 (3154)   |
| 2. 論文標題<br>介護の賃金増に必要な仕組みづくり            | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>週刊社会保障                       | 6. 最初と最後の頁<br>28-29 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>伊藤由希子                        | 4. 巻<br>76 (3163)   |
| 2. 論文標題<br>第5波と第6波の入院体制の比較             | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>週刊社会保障                       | 6. 最初と最後の頁<br>28-29 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>伊藤由希子   | 4. 巻<br>49          |
| 2. 論文標題<br>プライバシーは「保護される」から「制御する」時代へ : With/Afterコロナの「公平」なヘルスケアのために | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>Nextcom   | 6. 最初と最後の頁<br>13-24 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                      | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                              | 国際共著<br>-           |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>伊藤由希子   | 4. 巻<br>6936        |
| 2. 論文標題<br>経済学者が読み解く 現代社会のリアル(第76回)過剰な「病床確保」は医療提供体制を弱める | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>週刊東洋経済  | 6. 最初と最後の頁<br>76-77 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                  | 国際共著<br>-           |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>伊藤由希子   | 4. 巻<br>74(3083)    |
| 2. 論文標題<br>医療保険制度の課題と将来：「つなぎ」の危機と「持続」の危機（社会保障読本2020年版(理論編)：医療・介護・年金制度の現状と課題・将来）--（医療保険 理論編） | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>週刊社会保障  | 6. 最初と最後の頁<br>18-23 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし   | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）   | 国際共著<br>-           |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>伊藤由希子                          | 4. 巻<br>79(11)        |
| 2. 論文標題<br>病床再編の医療経済的效果（特集 医療経済からみた病院経営） | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>病院                             | 6. 最初と最後の頁<br>832-836 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし            | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-             |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>伊藤由希子   | 4. 巻<br>74(11)      |
| 2. 論文標題<br>経済・財政一体改革における医療保険制度改革：「魂なきデジタル化」と「根拠なき先送り」への警戒を：大局大説 | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>健康保険  | 6. 最初と最後の頁<br>14-19 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                                   | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                          | 国際共著<br>-           |

|  |                    |
|--|--------------------|
| 1. 著者名<br>乾友彦・川崎一泰・伊藤由希子・宮川勉・真野俊樹          | 4. 巻<br>49         |
| 2. 論文標題<br>特別養護老人ホームのマネジメントとパフォーマンス        | 5. 発行年<br>2019年    |
| 3. 雑誌名<br>RIETI Discussion Paper, 19-J-049 | 6. 最初と最後の頁<br>1-73 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし              | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）      | 国際共著<br>-          |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Kazuyo Tsushita, Akiko S Hosler, Katsuyuki Miura, Yukiko Ito, Takashi Fukuda, Akihiko Kitamura, Kozo Tatara  | 4. 巻<br>25(4)         |
| 2. 論文標題<br>Rationale and Descriptive Analysis of Specific Health Guidance: the Nationwide Lifestyle Intervention Program Targeting Metabolic Syndrome in Japan | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>Journal of Atherosclerosis and Thrombosis  | 6. 最初と最後の頁<br>308,322 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.5551/jat.42010  | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)  | 国際共著<br>該当する          |

[学会発表] 計32件(うち招待講演 15件/うち国際学会 3件)

|                                  |
|----------------------------------|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子                 |
| 2. 発表標題<br>医療・介護の経済・財政的課題の改善に向けて |
| 3. 学会等名<br>日本医学会総会(招待講演)         |
| 4. 発表年<br>2023年                  |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>猪又明大, 大谷猛, 雨宮智, 香村紗友梨, 伊藤由希子  |
| 2. 発表標題<br>持続的で柔軟な地域医療提供の実現に向けた社会デザインの研究 |
| 3. 学会等名<br>計算社会科学学会大会                    |
| 4. 発表年<br>2023年                          |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子, 池田登顕, 村上正泰, 猪又明大, 大谷猛, 雨宮智, 溝内剛, 多田厚子 |
| 2. 発表標題<br>米沢市民の急性期医療のニーズからみる医療提供体制の課題の考察               |
| 3. 学会等名<br>計算社会科学学会大会                                   |
| 4. 発表年<br>2023年   |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子                             |
| 2. 発表標題<br>医薬分業の課題                           |
| 3. 学会等名<br>医療経済フォーラム・ジャパン 第20回公開シンポジウム（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2022年                              |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子                               |
| 2. 発表標題<br>再生医療が患者に届くための制度設計                   |
| 3. 学会等名<br>かながわ再生・細胞医療産業化ネットワーク（RINK）座談会（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2023年                                |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子                         |
| 2. 発表標題<br>財政とイノベーションの両立                 |
| 3. 学会等名<br>2022年度 レギュラトリーサイエンス公開講座（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2023年                          |

|                          |
|--------------------------|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子         |
| 2. 発表標題<br>医薬経営の課題と今後の展望 |
| 3. 学会等名<br>医療経済（招待講演）    |
| 4. 発表年<br>2023年          |

|                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子                      |
| 2. 発表標題<br>医療費の制度的・経済的考察              |
| 3. 学会等名<br>21世紀保健医療フォーラム（第358回）（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2023年                       |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子                              |
| 2. 発表標題<br>非市場型サービスの生産性に関する議論 日本の医療・介護サービスを例に |
| 3. 学会等名<br>財務総合政策研究所「生産性・所得・付加価値に関する研究会」      |
| 4. 発表年<br>2023年                               |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子                                    |
| 2. 発表標題<br>地域の医療機関の治療アウトカム評価の指標ー地域の救急医療体制の可視化の観点からー |
| 3. 学会等名<br>健康・医療政策コンソーシアム 検討会（招待講演）                 |
| 4. 発表年<br>2023年                                     |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子                        |
| 2. 発表標題<br>医療機関の再編・統合と医療のパフォーマンス        |
| 3. 学会等名<br>新・医療政策研究会（東京大学公共政策大学院）（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2022年                         |

|                                 |
|---------------------------------|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子                |
| 2. 発表標題<br>急性期病床再編と急性期人材の集約について |
| 3. 学会等名<br>茨城県医師会定例研究会（招待講演）    |
| 4. 発表年<br>2022年                 |

|                                |
|--------------------------------|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子               |
| 2. 発表標題<br>健康・未病サステナブルまちづくり    |
| 3. 学会等名<br>サステナブル田園都市研究会（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2022年                |

|                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子                     |
| 2. 発表標題<br>日本のヘルスケアの将来像と製薬産業が果たすべき役割 |
| 3. 学会等名<br>医療産業政策研究所勉強会              |
| 4. 発表年<br>2022年                      |

|                            |
|----------------------------|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子           |
| 2. 発表標題<br>地域医療構想の現状と課題    |
| 3. 学会等名<br>自治医科大学「地域医療学」講座 |
| 4. 発表年<br>2022年            |

|                           |
|---------------------------|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子          |
| 2. 発表標題<br>DXがもたらす医療の将来像  |
| 3. 学会等名<br>日薬連フォーラム（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2022年           |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子                              |
| 2. 発表標題<br>医薬分業の課題                            |
| 3. 学会等名<br>医療経済フォーラム・ジャパン（第20回公開シンポジウム）（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2022年                               |

|                             |
|-----------------------------|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子            |
| 2. 発表標題<br>日本の医療政策の課題       |
| 3. 学会等名<br>政策分析ネットワーク（第87回） |
| 4. 発表年<br>2022年             |

|                                    |
|------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子                   |
| 2. 発表標題<br>どうする医療制度～コロナ危機を超えて      |
| 3. 学会等名<br>NIKKEI LIVE（2022年4月14日） |
| 4. 発表年<br>2022年                    |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Yukiko Ito  |
| 2. 発表標題<br>Experiments of Policy Evaluation Methods on Diversity and Inclusion |
| 3. 学会等名<br>Asia Pacific Conference (国際学会)                                      |
| 4. 発表年<br>2021年  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子                            |
| 2. 発表標題<br>地域の救急医療体制の可視化と 透明性の高い病院再編の議論に向けて |
| 3. 学会等名<br>第4回日本臨床疫学会 (招待講演)                |
| 4. 発表年<br>2021年                             |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子  |
| 2. 発表標題<br>QOL向上など成長の「質」を 考慮した経済と社会保障の シミュレーション (討論者コメント) |
| 3. 学会等名<br>日本経済学会春季大会                                     |
| 4. 発表年<br>2021年   |

|                              |
|------------------------------|
| 1. 発表者名<br>河野敏鑑・大森正博・伊藤由希子   |
| 2. 発表標題<br>学際系学部における経済学教育・研究 |
| 3. 学会等名<br>日本経済学会春季大会        |
| 4. 発表年<br>2021年              |



|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子・江崎禎英・遠藤久夫・翁百合・草場鉄周・近藤尚己 |
| 2. 発表標題<br>予防と健康増進：エビデンスに基づく政策形成のあり方     |
| 3. 学会等名<br>医療経済学会                        |
| 4. 発表年<br>2020年                          |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Ito Yukiko・Morikawa Mie  |
| 2. 発表標題<br>Does the Database for White Papers and Council Documents Encourage Inclusive Leadership? |
| 3. 学会等名<br>15th Asia-Pacific Conference (国際学会)  |
| 4. 発表年<br>2020年   |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Yukiko Ito   |
| 2. 発表標題<br>Innovation beyond Technology   |
| 3. 学会等名<br>International Symposium on Growth, Innovation, and Inequality, Fondation France-Japon de l'EHESS (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2019年   |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Yukiko Ito  |
| 2. 発表標題<br>Behavioral Difference for Working, Caring, and Health Performance among Regions-A look on elderly people from 1986-2016 |
| 3. 学会等名<br>RIETI Workshop  |
| 4. 発表年<br>2019年  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子                              |
| 2. 発表標題<br>高額薬剤が医療費に与える影響                     |
| 3. 学会等名<br>医療経済フォーラム・ジャパン，第18回公開シンポジウム，（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2019年                               |

|                                  |
|----------------------------------|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子                 |
| 2. 発表標題<br>労災疾病と経済学的評価           |
| 3. 学会等名<br>三重大学大学院医学系研究科公衆衛生セミナー |
| 4. 発表年<br>2018年                  |

|                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子                     |
| 2. 発表標題<br>政策評価と医療統計学                |
| 3. 学会等名<br>東京医科歯科大学医歯学総合研究科医療経済学セミナー |
| 4. 発表年<br>2018年                      |

|                                |
|--------------------------------|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子               |
| 2. 発表標題<br>地域医療学各論 地域医療構想と政策評価 |
| 3. 学会等名<br>自治医科大学地域医療学セミナー     |
| 4. 発表年<br>2018年                |

|                              |
|------------------------------|
| 1. 発表者名<br>伊藤由希子             |
| 2. 発表標題<br>薬局と医薬品流通に関する政策的論点 |
| 3. 学会等名<br>医薬品産業情報研究会        |
| 4. 発表年<br>2018年              |

〔図書〕 計5件

|  |                 |
|--|-----------------|
| 1. 著者名<br>清家篤, 西脇修 (編著)                                | 4. 発行年<br>2023年 |
| 2. 出版社<br>日本評論社  | 5. 総ページ数<br>212 |
| 3. 書名<br>「人口減少・少子高齢化の政策課題」(第5章担当: 伊藤由希子 「医療・介護の持続と健康」) |                 |

|   |                 |
|---|-----------------|
| 1. 著者名<br>Lailani Alcantara (Editor), Yoshiki Shinohara (Editor)  | 4. 発行年<br>2022年 |
| 2. 出版社<br>Routledge   | 5. 総ページ数<br>242 |
| 3. 書名<br>Diversity and Inclusion in Japan ("Inclusive policymaking through the development of an open-access database for research and education.") |                 |

|                            |                 |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>清家篤, 西脇修 (編著)    | 4. 発行年<br>2023年 |
| 2. 出版社<br>中央経済社            | 5. 総ページ数<br>212 |
| 3. 書名<br>人口減少・少子高齢化社会の政策課題 |                 |

|  |                 |
|--|-----------------|
| 1. 著者名<br>ヘルスケア総合政策研究所 (著), 西村 周三 (監修) | 4. 発行年<br>2019年 |
| 2. 出版社<br>日本医療企画                       | 5. 総ページ数<br>202 |
| 3. 書名<br>医療白書2019                      |                 |

|                                     |                 |
|-------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>シード・プランニング (編)            | 4. 発行年<br>2019年 |
| 2. 出版社<br>株式会社シード・プランニング            | 5. 総ページ数<br>260 |
| 3. 書名<br>2019年版 未来年表 超高齢化社会の医療の未来予測 |                 |

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

| 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号) | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号) | 備考 |
|---------------------------|-----------------------|----|
|                           |                       |    |

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 |  |  |  |
|---------|---------|--|--|--|
|         |         |  |  |  |